

2026 年 9 月 28 日作成 Ver.1.1

《情報公開文書》

慢性好酸球性白血病に対する同種造血幹細胞移植の治療成績

研究の概要

【背景】

慢性好酸球性白血病（CEL）は、血液中の好酸球が異常に増加する血液がんの一つで、患者数の少ない稀な病気と考えられています。特に、心臓や神経などの重要な臓器に障害を来した場合には、治療が難しく、経過が良くないことが知られています。また、CELに対しては、抗がん剤などの薬物療法を含め、標準的な治療法が十分に確立されていません。

薬物療法による治療が難しいCELに対しては、治癒を目指して、健康な提供者（ドナー）の造血幹細胞を移植する同種造血幹細胞移植（以下、同種移植）が行われることがあります。しかし、CELに対する同種移植については、これまで海外から少数の患者を対象とした報告があるのみで、日本国内の患者における治療成績や安全性は十分に明らかになっていません。

本研究では、全国調査によって収集されたデータベースを用いて、CELに対する同種移植の治療成績や移植後の経過を明らかにします。これにより、CELの患者さんにとって、より適切な治療方針を検討し、今後の治療戦略の確立に役立てることを目指します。

【目的】

本邦における CEL の臨床的特徴と移植成績を明らかにすることを目的としています。

【意義】

本研究から得られた結果は、CELに対する同種移植の適切な実施方法や、今後の治療方針を検討するための基礎資料になると期待されます。

【方法】

本研究では、日本造血細胞移植データセンターが管理するデータベース（移植登録一元管理プログラム）（以下、TRUMP）に登録された同種移植例の情報を日本造血細胞移植データセンターから提供を受けます。その情報を用いて、同種移植を受けた CEL における治療成績を解析します。

対象となる患者さん

本研究は、TRUMP に登録された以下の条件を満たす方が対象になります。

- ①同種移植を受けた CEL 患者さん
- ②同種移植を 1993 年 1 月 1 日から 2024 年 12 月 31 日までに受け、TRUMP データベースに登録されている患者さん

研究に用いる情報	
●研究に用いる情報 日本造血細胞移植データセンターから、下記の情報を提供を受け、本研究に利用します。 ・患者背景 ・臨床経過（有効性、再発の有無、副作用の有無） ・血液学的検査、骨髄検査、画像検査 ・治療内容 ※2025 年 12 月 31 日までの情報を利用します	
情報の利用開始予定日	
本研究は 2026 年 10 月 1 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。	
既に個人が識別できない状態で情報が提供されるため、個人を特定する事はできません。 情報利用の拒否を申し出ても対応できません。あらかじめご了承ください。 本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2029 年 5 月 31 日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学病院 細胞療法部 氏名：糸永 英弘 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095（819）7455
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
データ提供機関	日本造血細胞移植データセンター 責任者：熱田 由子 住所：愛知県 長久手市 岩作雁又 1 番地 1 愛知医科大学内 電話：0561-65-5821
問い合わせ先	
【研究の内容について、情報等の利用停止】 長崎大学病院 細胞療法部 糸永英弘 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095（819）7455 FAX 095（819）7457	

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）